

第27回「大学コンソーシアム岡山」運営委員会 議事要旨

1. 日 時：平成24年9月7日（金）15時00分～16時30分
2. 場 所：岡山理科大学 9号館3階大会議室
3. 出席者：25／36（人） ※別紙のとおり

（議 事）

議事に先立ち、大学コンソーシアム岡山木村運営委員長（学外連携推進室副室長）から挨拶があった。9月11日の代表者会議に提案する内容を審議いただくために、今年度第2回目の運営委員会を開催する運びとなった旨の説明があった。前回議事要旨の内容について修正があれば本会議または後日指示いただくよう依頼があった。

（審議事項）

1. 平成23年度収支決算報告について
木村委員長から【資料1】に基づき、収支決算について説明があった。
2. 平成25年度事業計画案について
 - ① 木村委員長から【資料2】に基づき、大学教育事業部（各3項）、社会人教育事業部（SD講座を含め各2項）、産学官連携事業部（各4項）の平成25年度事業計画について継続する旨の説明があった。
 - ② その他の各2項について継続する旨の説明があった。広報活動については、ホームページを活用した活動を実施する。
 - ③ 岡山オルガノンの割愛した項目として「FD講座」の実施があるが、3月の代表者会議で、平成25年度に新規「FD講座」を試験的に実施する旨を提案し、了承を得たいとの説明があった。
 - ④ 大崎委員（岡山商科大学 副学長）から【資料2】3. 産学官連携事業部（3）「インターンシップの実施」表記の後ろに“中央会と共同実施”と追加するよう発言があり、木村委員長から、追加する旨の返答があった。
 - ⑤ 友近委員（岡山学院大学 人間生活学部教授）から次の発言があった。「FD・SD講演会と共同で実施してはどうか。」木村委員長から、場合によってはそのようにする旨の返答があった。以上、審議の結果平成25年度の事業計画案は了承された。
3. 大学コンソーシアム岡山規定等の改定について
木村委員長から【資料3】に基づき、「大学コンソーシアム岡山」旅費支給事務取扱要項第7条2の日当について、半日日当はなしと定め、内容を補足明記した上で会長裁定による決定がなされてよいか確認が行われ、原案どおり了承された。

4. 第14回代表者会議の議題について

木村委員長から【資料4】に基づき、代表者会議の議事内容の説明があり、確認が行われ、原案どおり了承された。

(報告事項)

1. 平成24年度各種委員会について

木村委員長から【資料5】に基づき、各種委員会と委員長・副委員長の紹介があった。単位互換委員会(5月15日開催)、対面・遠隔講義委員会(5月25日開催)、社会人教育委員会(前年度に引き続き4月24日に開催)、地域貢献委員会(5月22日に開催)、就職支援委員会(7月17日開催)、日ようび子ども大学とエコナイトが開催された旨の説明があった。各委員会においては、今年度後期に第2回目の委員会を開催し、審議いただきたい。

2. 各事業部活動報告について

各事業部から、以下のとおり議題について報告があった。

(1) 大学教育事業部

委員長から【資料6】に基づき、平成24年度前期の単位互換履修状況の説明があった。提供科目は251あるので、科目の厳選について単位互換委員会で審議いただくことを依頼している。ライブ科目は7、受講生は9名であり伸びなかった。VOD配信はインターネット、下宿場所等どこでも受講できるので、121名の履修生があり、全139名の履修者があった。来年度もPR活動を検討し提案したい。受講生数の評価が対面・遠隔講義委員会および単位互換委員会で審議される。

後期遠隔科目について、VODについて岡山大学の「学習支援システム概論」、岡山学院大学の「食に関する健康学」、川崎医科大学の「健康と素因・環境そして生活」科目が今年度新設された科目である。

履修締切日の延長についても、単位互換委員会で審議いただきたい。

(2) 社会人教育事業部

① 木村委員長から【資料7】に基づき、社会人教育事業部の報告がなされた。今年度の吉備創生カレッジ前期科目について、昨年度より科目数が減ったが履修者数は400名~500名で推移している。

② 特別講座「SD講演会」は今年度の事業計画に含めていなかったが、社会人教育委員会大槻委員長(川崎医科大学学長補佐)が今年度実施することをご承諾され、大槻委員長に企画いただいた。各3名の講師が専門的で興味深い内容を講演いただいた。当初は大学教育事業部で所掌することを検討していたが、今後は社会人教育事業部で実施することを検討していきたい。

③ 配付資料「吉備創生カレッジ」後期開講科目パンフレットに基づき、後期に開講する30科目について説明があった。大槻委員長(社会人教育委員会)から補足説明があった。毎月月末に社会人教育委員会メール会議をしており、次年度もメール会議で実施する予

定である。

(3) 産学官連携事業部

- ① 木村委員長から【資料8】に基づき、「日ようび子ども大学in 京山祭」は岡山県生涯学習センターで開催された。学生は149名参加し、参加者は1,200名であり、成功を修めた。【資料8-2】に基づき、収支決算書のうち、8,385円予算を上回ったが、会費から計上することも可能である旨の説明があった。
- ② 木村委員長から【資料9】に基づき、エコナイトについて岡山駅東口広場で学生105名、教職員17名が協力し、うらじゃ演舞、アコースティックライブ等盛況に開催することができた旨の報告がなされた。
- ③ 木村委員長から【資料10】に基づき、東日本大震災復興支援ボランティア活動を昨年度に引き続き今年度も岡山経済同友会が中心となって実施したことの報告があった。学生36名、教職員6名、企業10名程度が参加した。学生がバスで22日に出発し23日から厳しい行程の中ボランティア活動を行い、26日に岡山へ戻った。23日には大槌中学校の後片付けや貴重なものを別の場所に収める等の活動を行った。24日には大槌中学校の校長先生からの依頼により、中学生が希望したバーベキューを校庭で提供する活動を行った。宿泊した大槌稲荷神社は、当時約110名の避難者があり、緊急避難場所となっていた。

原副委員長（岡山経済同友会教育問題委員会委員長）から補足説明があった。9月19日午後7時に山陽放送の番組「メッセージ」で、学生が感じたこと等に焦点を当てたテレビ番組が放映される。

- ④ 木村委員長から【資料11】に基づき、インターンシップについて説明があった。昨年度までは岡山県経営者協会が実施していたが、補助金終了後、岡山県中小企業団体中央会が補助金採択に伴い事業継承される運びとなり、大学の就職活動支援、未就職の学生支援等を行っている。引き続き補助金終了後、コンソーシアムに継承されることが大きな課題である。

【資料11-2】に基づき、インターンシップ参加状況の説明があった。企業の開拓までがコンソーシアムの仕事になると厳しい点があるので、来年度就職支援委員会で検討いただきたい。

(4) 続いて、運営委員から、以下のとおり議題について発言があった。

- ① 鈴木委員（ノートルダム清心女子大学 事務部長）から次の質問があった。「ライブ講義の他大学で異なる開始授業の調整等行われているのか。」

木村委員長から、「3つの共通時間帯を設けて当てはめている科目もあるが、まだ授業開始時間の問題は残っている。科目の存在も学生にまだ十分伝わっていない。」、との回答がなされた。

- ② 鈴木委員から次の質問があった。「講師、職員等の手間がかかっていると思うが、謝金はでているのか。」

木村委員長から、次の回答がなされた。「現在は無償で行われているが、謝金を支払うための会費を上げること等検討できるが、単位互換委員会で審議いただきたいと思う。」

- ③ 鈴木委員から次の質問があった。「インターンシップ、ボランティア等事業が拡張しているが、単位互換については、伸び悩んでいるように思えるが、他県ではどのような状況か。」

木村委員長から次の回答がなされた。「もっと広い範囲で大学を会員にして運用しており、遠隔教育の運用における方針が異なる。香川大学では岡山より1年先にスタートしているが、岡山より履修者数は少ない。大学の先生がオムニバスで行うなど特徴ある遠隔講義を実施しているようである。」

- ④ 大崎委員（岡山商科大学 副学長）から次の意見があった。「ライブ型講義については、非常勤の先生に15回のうち5回はライブで実施していただけると、履修生が増える良い策となるので検討いただきたい。」

3. 出張報告について

木村委員長から【資料12】に基づき、第9回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムへの参加報告があった。

4. 大学コンソーシアム岡山第4期パンフレットについて

木村委員長から【資料13】について、大学コンソーシアム岡山パンフレットの説明があった。事業内容が増えたことと、大学コンソーシアム岡山の活動経過をよりの確に表明するため、昨年度より4ページ増やした。

続いて、運営委員から、以下のとおり発言があった。

- ① 青木委員（就実大学 事務部長）から、パンフレット裏面の教育学部が抜けているとの指摘があった。
- ② 大崎委員（岡山商科大学 副学長）より、法学部、経済学部、経営学部の順番で修正してほしい旨の指摘があった。

5. 「岡山EU協会」会費の支払いについて

木村委員長から【資料14】に基づき、Eu in JAPANの会費について今年度予算計上していなかったが、会長継続として会費を支払った旨の報告がなされた。

6. 平成24年度予算執行状況について

木村委員長から【資料15-3】に基づき、平成24年度の予算執行状況が報告された。岡山オルガノンから継承された事業予算の雑収入に100万円があるが、これは年度当初の運転資金として、会費から100万円を入れており、年度の終わりに100万円を事業費から会費に戻す予定である旨の説明があった。

7. その他

木村委員長から、新規に始まった大学間連携共同教育推進事業には今年度岡山県内大学からの提案は採択されなかったが、来年度にも補助申請が可能ならば、大学コンソーシアム岡山としても、何らかの検討が必要と思われるとの見解が表明された。

※次回開催予定は追って通知。

以 上